Z世代の節約理由は趣味・自己投資よりも物価高。「Z世代100人の節約事情」の調査結果を公開

消費者向けの光熱費やネット回線などインフラをテーマとしたメディア運営と、企業のマーケティング支援を行う株式会社ブレイブ(本社：東京都世田谷区、代表：中島将太)は、このたびひとり暮らしをするZ世代の節約事情にかんするアンケートを実施いたしました。本調査におけるZ世代の定義は18 27歳の男女としています。Z世代がいま、どのような節約をどのような理由で行っているのか。アンケート結果についてご報告いたします。

【アンケート調査概要】
・調査期間：2023年6月16日 ~6月17日（2日間）
・回答者：18歳～27歳の一人暮らしの男女100名
・調査方法：インターネット調査

■Z世代の節約方法第一位は「食費の削減」

Q.1あなたが普段意識して行っている節約をすべて選択してください

1位：66票「食費の削減」
2位：59票「光熱費の削減」
3位：28票「携帯代の削減」
4位：21票「洋服代の削減」
5位：19票「美容代の削減」
6位：10票「交際費の削減」
7位：　8票「サブスク代の削減」
8位：　6票「趣味・嗜好代の削減」
9位：　1票「その他」

調査の結果、趣味や交際費よりも食費の節約に取り組んでいる人が多いことが伺えました。
単身で生活しているからこそ、自由に食費の調整をすることが可能だと推測されます。

■若者に流行中のサービスを活用し節約を行う人が多数

Q.2上記の具体的な節約方法をお書きください
※各項目で多かった回答を記載

◇食費の削減
・おなかが空いた状態で買い物に行かない
・豆腐やもやしでかさましをする
・惣菜は割引シールが張られたものだけ買う
◇光熱費の削減
・外出時は家電のコンセントを抜く
・明るいうちは電気を付けない
・エアコンを極力付けない
◇携帯代の削減
・スマホを格安SIMにする
◇洋服代の削減
・服はフリマサイトで買う
◇美容代の削減
・美容院やネイルは安く利用できる予約サイトから予約する
・デパコスからプチプラに変えた

フリマサイトや予約サイトの活用など、若者に定着しているサービスを有効活用する回答が目立つ結果となりました。また、「携帯代の削減」と回答した人については、ほとんどの人が大手キャリアではなく、格安SIMを使用している一方、「光熱費の削減」については使い方で節約をする人は見られましたが、契約している会社自体を見直す人はほとんど見られませんでした。ほかにもユニークな例として、下記のような回答もありました。

「新しい服を買う前に断捨離をしてフリマサイトで売り、その儲けの分だけ買う」（20歳・女性）
「水道工事などのマグネットをフリマサイトで集めて売る」(27歳・男性)
「食費はその時の気分で食べ過ぎたり少なかったりとムラがあるのが一番出費につながるため、毎週決まった曜日に決まったものを食べるようにルーチン化しました。下手に余りが出ないように、量り取れる食材はグラムを量って使うようにし、食費を毎週固定金額になるように調整しています」(27歳・男性)

「売れるもの」を日々の生活で見つけたり、買い物に工夫を凝らす回答が見られました。

Q.３あなたが節約を行っている理由をすべて選択してください(複数選択可)

1位：57票「物価高のため（生活費の担保）」
2位：40票「万が一に備えた貯金をしたいため」
3位：24票「趣味に費やすお金を増やしたいため」
4位：20票「結婚・養育・住宅購入費を貯めるため」
5位：19票「給与が減ったため（生活費の担保）」
6位：18票「老後の生活費用にするため」
7位：11票「投資費用にするため」
8位： 8票「自己投資（整形・矯正等）費用を増やしたいため」

9位： 7票「その他」
10位：5票「交際費用を増やしたいため」

回答を分析すると、Z世代が節約する理由として、「物価高」や「貯金のため」が多くを占めていることがわかります。推し活世代とも言われるZ世代ですが、節約理由は趣味や自己投資よりも貯金などが上回っていることから、堅実な姿が伺える結果となりました。なかでも、興味深い回答者の節約理由を以下にご紹介します。

「老後2,000万円問題というニュースを見ました。私は独身で、将来が不安なので節約をしています」(25歳・女性)
「元々給与が少ないのに物価高で生活が苦しくなり、日々いっぱいいっぱいだから」(27歳・女性)
「早く資産を貯めて、リタイアしたいと考えているため」(27歳・男性)
「万が一のときにお金のことで迷いたくないので」(25歳・女性)

コメントからは、「老後2000万円問題」や「物価高」について言及するZ世代もいるなど、時事的背景を踏まえながらお金の使い方を考えている姿が伺えます。

Q.4上記の状況が改善された(または意識の変化があった)あとも、現在行っている節約を続けたいですか？

■すべて続けたい 63%
■一部続けたい 32%
■すべて続けたくない 8%

どのような形であれ、「節約を続けたい」と答えた人は95%とほとんどの人が回答しました。
上記を選択した理由としてあがったコメントをご紹介します。

「世界大戦が来るかもしれないので貯えを増やしておいた方がいいと思ったから」(19歳・男性)
「ストレスでもなく、むしろお金が貯まり心身ともにハッピーな気持ちなので」(27歳・男性)
「ただの節約だけではなく、不摂生も改善されたから」(27歳・女性)
「節約をして生活コストを下げてもあまり幸福度に差がないことに気づいたからです。節約することで部屋も片付き無駄な物が減りました。暇を潰すためにお金を使いまた働いてストレスを溜めるという負のサイクルから抜け出せたのが大きいです」(27歳・男性)

Z世代にとって、節約が習慣となっており、時代に合った柔軟な生き方をしていることが伺えます。また、コメントを読むと、節約のメリットを自身で見出すZ世代も少なくないようです。

■節約をしたい全世代におすすめしたい「クラシェルジュ（https://cracierge.jp/）」について

今回はZ世代の節約事情についてアンケートを行いましたが、弊社が運営する電気、ガス、ネット回線代の料金シミュレーションができるサイト「クラシェルジュ」は節約に興味を持ったあらゆる世代の方にとっておすすめしたいサイトです。光熱費の節約方法でZ世代は使用上の節約に多く取り組んでいましたが、それだけでなく根本の契約会社から見直すことも節約に がります。その際にクラシェルジュを利用していただければと思います。
クラシェルジュは、特に下記の方におすすめいたします。

・ライフステージが変わる方
└生活インフラはライフスタイルにより最適な会社が異なります。単身者、ファミリーなど、ライフスタイルに合わせて契約を見直す際の参考となります。

・長年生活インフラの見直しをしていない方
└特に、ネット回線は契約をするだけで高額キャッシュバックをもらえる場合も多く、契約期間ごとに見直し・乗り換えを行うのがおすすめです。

・現在の生活インフラに少しでも疑問がある方
└生活インフラは知識がなければ料金の感覚がつかみづらい分野です。まずはシミュレーションをして、今よりも最適な会社があるかを知るところからはじめていただければと思います。

【引用時の参照ページ】
本情報を引用する場合、以下ページを参照元としてください。
https://cracierge.jp/corp/pressrelease/2023/id_zsedai-setsuyaku/

【会社概要】
会社名：株式会社ブレイブ（Brave, Inc.）
代表者：中島将太
事業内容：webマーケティング事業・ソーシャルブランディング事業
本社所在地：東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー22階
URL：https://bra-ve.co.jp/company/

【クラシェルジュに関するお問い合わせ先】
サービスページ：https://cracierge.jp/
電話番号：03-6804-0166
問い合わせフォーム：（法人）https://cracierge.jp/corp/contact/biz/
（個人のお客様）https://cracierge.jp/corp/contact/users/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com